

第3次甲州市総合計画、第4期甲州市総合戦略及び

第5次甲州市行財政改革大綱策定準備支援業務に伴うプロポーザル審査基準評価項目

◎下表の「評価の視点」欄に基づき、それぞれ次の6段階で評価し、各審査委員の得点を合計した総得点に基づき、本要領に従って受託候補者を決定する。

なお、(a)組織の実績、(b)実施体制、及び(c)価格の妥当性については、事務局において内規に基づき事前に客観的・機械的採点を行うため、委員による評価の対象外とする。

A：優秀である（配点×1.0） D：物足りない（配点×0.4）

B：満足である（配点×0.8） E：劣っている（配点×0.2）

C：平均的である（配点×0.6） F：未提案（配点×0）

審査段階	評価項目	評価の視点
第一次審査 (書類) 85点	(a)組織の実績	・自治体における同種・類似業務の受託・完遂実績は十分か。※次の業務（元請・完了分）の実績がある場合は審査において加点評価する。 [対象：行革大綱、国土強靱化、行政評価、公共施設等総合管理計画]
	(b)実施体制	・各計画策定に精通した適切な人員配置（実施体制）が整っているか。
	(c)価格の妥当性	・見積金額は提案内容に対して妥当であり、積算根拠が明確か。
	基本方針	・総合計画、総合戦略、行財政改革大綱の一体的策定の意義を理解し、本市が目指すべき将来像や全体の方向性を的確に捉えた提案になっているか。 ・工程計画は効率的かつ実現可能なものとなっているか。
第二次審査 (プレゼンテーション) 115点	提案の具体性	・市民参画等の手法が具体的かつ本市にとって効果的か。 ・各計画間の整合性と相乗効果を生むための論理的な手法が示されているか。
	地域特性の反映・実効性	・本市の地域特性を、各計画の骨子案へ具体的に反映させるための提案が示されているか。 ・各計画の円滑な進行管理（進捗確認シートの一元化等）を見据え、計画を形骸化させることなく確実に推進し、実効性と運用の効率性を高めるための具体的な提案がなされているか。
	表現・応答能力	・説明は論理的で分かりやすく、提出資料との整合性が保たれているか。 ・質疑に対し、専門的知見に基づいた的確かつ誠実な回答ができていないか。

(合計得点：200点満点)